

平成26年度 放射線(診療)業務従事者の教育訓練(講習会) 開催記

神奈川県放射線管理士部会(小田原市立病院) 佐藤英俊

平成26年4月20日(日)、日産ウェルフェア横浜にて、主催、神奈川県放射線管理士部会、神奈川核医学研究会、神奈川県放射線治療研究会、後援、公益社団法人 神奈川県放射線技師会、社団法人 日本放射線技術学会・関東部会、日本放射線公衆安全学会、日本核医学専門技師認定機構、日本核医学技術学会の『放射線(診療)業務従事者の教育訓練(講習会)』を開催しました。

定員120名を上回る参加登録があり、定員を超えた後のお申し込みに対してはお断りをする事になってしまい、申し訳ありませんでした。来年以降、もう少し広い会場での開催を考慮致します。

講演内容は、午前中「放射性同位元素及び放射線発生装置等の取り扱いⅠ」核医学検査室における安全管理について、東海大学医学部附属病院の山下高史先生から放射性医薬品に関する安全管理、放射性医薬品を投与された患者さんのオムツ等の管理についてお話しいただきました。続いて「放射性同位元素及び放射線発生装置等の取り扱いⅡ」PET撮像法ガイドラインと安全管理について、国立がん研究センター中央病院の島田直毅先生から、PET/CTの臨床的有用性やガイドラインについてお話しいただきました。「放射性同位元素及び放射線発生装置等の取り扱いⅢ」核医学における安全管理の取り組みについて、北里大学病院の看護師 原優花先生からPET-CT検査への看護師の介入について看護師さんの立場からお話しいただきました。昼食休憩をはさみ、午後からは「放射性同位元素及び放射線発生装置等による放射線障害の防止に関する法令」最近の法改正概要と実務について、横浜労災病院の渡邊浩先生から改正法の概要を解り易くお話しいただきました。続いて「放射線の人体に与える影響」循環器への影響も含めてについて、帝京大学医学部附属溝口病院の放射線科教授 多胡正夫先生から放射線防護の概論からリスクコミュニケーションまで詳しくお話しいただきました。続いて「放射性同位元素及び放射線発生装置等の取り扱いⅣ」Tomotherapy 施設における放射線治療の品質管理とチーム医療について、湘南鎌倉総合病院の永田弘典先生から品質管理についてお話しいただきました。続いて「放射性同位元素及び放射線発生装置等の取り扱いⅤ」放射線治療の品質管理について、大船中央病院の下内欣亮先生からIGRTについてとインシデントレポートについてお話しいただきました。最後に「放射性同位元素及び放射線発生装置等の取り扱いⅥ」治療専従看護師の日常業務と役割について、がん研有明病院の看護師 後藤志保先生から放射線治療を受ける患者さんへの看護についてお話しいただきました。

長時間の講習会でしたが、大勢の方に最後まで聴講をして頂きありがとうございました、勉強した内容を明日から少しでもご自身の施設で役立てて頂けたらと思います。今後も、当部会開催の各種講演会にご参加ください。ありがとうございました。